

# hp smartアレイ641/642 コントローラ インストレーションの概要



i n v e n t

## システム要件

サーバの互換性およびサポートされるオペレーティングシステムについては、HPのWebサイト<http://www.hp.com/products/smartarray/>（英語）を参照してください。

このコントローラでサポートされるハードディスク ドライブの最新リストについては、HPのWebサイト<http://www.hp.com/>（英語）を参照してください。

## 安全に関するご注意



**警告:** けがや装置の損傷を防止するために、この装置のインストールを開始する前に、サーバに付属の安全上の注意事項およびユーザ ドキュメンテーションを参照してください。多くのサーバで、危険な高電圧が発生する可能性があります。修理をする場合は、HPのサービス窓口にご依頼ください。感電の危険を回避するためにカバーやインターロックが取り付けられている場合は、カバーを取り外したり、インターロックを無効にしたりしないでください。

## 規定に関するご注意

装置に貼られたラベルは装置のクラス（AまたはB）を表示するものです。

- クラスA装置の場合は、VCCIロゴが表示されていません。
- クラスB装置の場合には、ラベルにVCCIロゴが表示されています。

装置のクラスを確認したら、『HP Smartアレイ641/642コントローラ ユーザ ガイド』の「規定に関するご注意」を参照してください。このユーザ ガイドは、印刷物またはコントローラ製品ドキュメンテーションCDに収録されたファイルとして、コントローラ キットに付属しています。

## 追加情報の入手先

この資料に記載されていない情報が必要な場合は、以下の情報リソースから、より詳しい情報を入手できます。

- 『HP Smartアレイ641/642コントローラ ユーザ ガイド』
- HPのWebサイト (<http://www.hp.com/>)

©2002 Hewlett-Packard Development Company, L.P.  
©2002 日本ヒューレット・パッカード株式会社

Microsoft、WindowsおよびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。IntelおよびPentiumは、米国Intel Corporationの登録商標です。Itaniumは、米国Intel Corporationの商標です。UNIXは、The Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、そのままの状態で提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品に対する保証については、当該製品に付属の限定保証書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

初版（2002年11月）  
製品番号 309312-191



309312-191

## キットの内容

### 1. Smartアレイ641または642コントローラ 2. SmartStart CD

このCDが同梱されていない場合は、代わりにサポートソフトウェアキットが同梱されます。

このCDには次のものが収録されています。

- SmartStartおよびInsightマネージャ ソフトウェアのドキュメンテーション ファイルとデモンストレーション
- コントローラ用のデバイス ドライバおよびサポートソフトウェア
- Rack Builderユーティリティ
- アレイ コンフィギュレーション ユーティリティ (ACU)
- ROMアップデート ユーティリティ
- Server Diagnostics
- マネジメント エージェント

### 3. サポートソフトウェア キット

このキットのCDおよびディスクケットには次のものが含まれています。

- コントローラ用のデバイス ドライバおよびサポートソフトウェア
- システム コンフィギュレーション ユーティリティ (SCU)
- アレイ コンフィギュレーション ユーティリティ (ACU)

### 4. コントローラ製品ドキュメンテーション (CPD) CD

すべての新しいHP製コントローラにはCPD CDが付属しています。CPD CDは、すべてのHP製コントローラのユーザマニュアル ファイルを収録して、新製品の発表時に更新されます。このため、今後新たにご購入されるHP製コントローラには、より新しいバージョンのCPD CDが付属している場合があります。

このマニュアル ファイルは、CPD CDに収録されているAdobe Acrobat Readerを使用して表示および印刷できます。CPD CDをCD-ROM ドライブに挿入すると、Adobe Acrobat Readerをご使用のシステムにインストールするためのウィザードが表示されます。

### 5. 印刷されたマニュアル

- 『インストレーションの概要』
- 保証規定書
- このコントローラについての最新情報が記載された他の資料 (ある場合)

印刷された『HP Smartアレイ641/642コントローラ ユーザ ガイド』がオプション キットに付属している場合もあります。

## インストール手順について

このポスターの裏面には、コントローラを新しいシステムにインストールする手順が示されています。

コントローラを既存のシステムにインストールする場合も手順は類似していますが、以下の順序で作業を実行する必要があります。

1. システムのデータのバックアップをとります (Smartアレイ以外のコントローラからアップグレードする場合、この作業は必須です)。
2. システム ファームウェアを更新します (第2項)。
3. コントローラをブート デバイスとして設定する場合は、ここでオペレーティング システム用デバイス ドライバをインストールします (第6項) (コントローラをブート デバイスとして設定しない場合は、後の手順で指示があるまでデバイス ドライバをインストールしないでください)。
4. コントローラ ハードウェアをインストールします (第1項)。
5. コントローラの順序を設定します (第4項)。
6. コントローラ ファームウェアを更新します (第2項)。
7. システム コンフィギュレーション ユーティリティを使用している場合は、システム パーティションを更新し (第3項)、コントローラの順序が変化していないことを確認します (第4項)。
8. コントローラをブート デバイスとして設定しない場合は、ここでデバイス ドライバをインストールします (第6項)。

以上で既存のシステムへのインストールは完了です。インストールが完了すると、次のことができます。

- HPのWebサイト <http://www.hp.com/servers/manage/> (英語) で新しいバージョンのInsightマネージャおよびマネジメント エージェントが提供されている場合、これらを更新できます。詳しい手順については、Insightマネージャのマニュアルを参照してください。
- 必要に応じて、論理ドライブを作成、変更、およびフォーマットできます。
- Smartアレイ以外のコントローラからアップグレードした場合、バックアップからデータをリストアできます。

# インストール手順

作業を開始する前に、必要な最新バージョンのドライバおよびユーティリティ ファイルが揃っていることを確認してください。HPのWebサイト<http://www.compaq.com/support/files/>（英語）にあるファイルと、コントローラ キットに付属のソフトウェアCDに収録されている同じファイルのバージョン番号を比較してください。

コントローラを既存のシステムにインストールする場合は、このポスターの「インストール手順について」（この裏にあります）を参照してください。

インストールの各手順について詳しくは、『HP Smartアレイ641/642コントローラ ユーザ ガイド』を参照してください。

## 1. ハードウェアのインストール



**警告:** けがや装置の損傷を防ぐために、次の点に注意してください。

- 電源コード接地ピンを使用可能にしておいてください。接地ピンは重要な安全機能です。
- いつも容易にアクセスできるアース付きコンセントに電源プラグを差し込んでください。
- コンセントまたはサーバからすべての電源コードを取り外し、サーバの電源を切ってください。
- システムの内部部品やハードディスク ドライブが十分に冷めてから手を触れてください。

コントローラ ハードウェアをサーバにインストールするには、以下の手順に従ってください。

- 通常の手順でシステムをシャットダウンしてサーバの電源を切り、外部ストレージ ユニットの電源を切ります。
- すべての周辺装置の電源を切ります。
- サーバからすべての電源コードを取り外します。
- サーバのパネルを開きます。
- 空いている3.3V PCIまたはPCI-Xスロットにコントローラ ボードをインストールします。
- 内蔵ハードディスク ドライブを新しいコントローラに接続します。
- サーバのパネルを閉じます。
- すべての外部ケーブルをサーバに再び接続します。

## 2. システム ファームウェアの更新

HPのWebサイトにあるSmart Componentをダウンロードし、Smart ComponentのあるWeb ページで提供される詳細手順に従って、ファームウェアを更新できます。

また、サーバがオペレーティング システムとしてMicrosoft Windows 2000またはWindows NTを使用する場合、コントローラ キットに同梱のソフトウェアCDを使用してファームウェアを更新できます。

**注:** 最新のProLiantサーバには、最初に電源を入れたときに自動的にシステムおよびコントローラのファームウェアを更新するものがあります。特定のサーバについて、これに該当するかどうかを識別するには、そのサーバ専用のセットアップ/インストレーションガイドを参照してください。

CDを使用するには、以下の手順に従ってください。

- サーバのCD-ROM ドライブにCDを挿入します。  
オフラインの間にファームウェア アップデートを実行したい場合、ここでサーバを再起動し、次にコントローラの初期化が完了するのを待ちます。
- [Agree]をクリックします。  
ProLiantストレージ ソフトウェアのメイン画面が表示されます。
- [ROM Update Utility]をクリックします。
- [Updates]タブをクリックします。
- [Express]または[Custom]モードを選択し、画面上の指示に従ってシステムおよびコントローラのファームウェアを更新します。

**重要:** サーバがRBSUを実行しない場合、ここでシステム コンフィギュレーション ユーティリティ (SCU) を使用してシステム パーティションを更新する必要があります。

## 3. システムの設定

新しいサーバの多くはROMベース セットアップ ユーティリティ (RBSU) を使用してシステムを設定します。

システムがRBSUをサポートしない場合、システム コンフィギュレーション ユーティリティ (SCU) を使用します。また、すでにSCUを使用してサーバの設定が行われている場合は、システム パーティションの更新に再度SCUを使用する必要があります。SCUの使用について詳しくは、サーバ セットアップ/インストレーションガイドを参照してください。SCUを使用した後、「コントローラの順序の設定」の項の手順に従ってコントローラの順序が変化していないことを確認します。必要に応じて、コントローラの順序を再設定してください。



**注意:** SCUを使用して設定されたシステムに対しては、RBSUを使用しないでください。データが消失する可能性があります。

**注:** 最新のProLiantサーバには、最初に電源を入れたときに自動的に自己設定するものがあります。特定のサーバについて、これに該当するかどうかを識別するには、そのサーバ専用のセットアップ/インストレーションガイドを参照してください。

RBSUを使用するには、以下の手順に従ってください。

- サーバの電源を入れます。
- 画面にRBSUプロンプトが表示されている数秒の間に、F9キーを押してRBSUを起動します。
- 画面上の指示に従ってシステムを設定し、ブート コントローラの順序を設定します。
- 設定を保存して、ユーティリティを終了します。
- 新しい設定を有効にするためにサーバを再起動します。

## 4. コントローラの順序の設定

「システムの設定」の項でRBSUを使用してコントローラの順序を設定しなかった場合は、ここでOption ROM Configuration for Arrays (ORCA)ユーティリティを使用して設定できます。

1. サーバの電源を入れます。画面にORCAプロンプトが表示されている間に、**F8**キーを押してユーティリティを起動します。
2. 画面上の指示に従ってブート コントローラの順序を設定します。
3. 設定を保存します。
4. ORCAを使用して論理ドライブを作成しない場合は、ユーティリティを終了します。

## 5. 論理ドライブの作成

システムに論理ドライブおよびデータがすでに含まれている場合は、この時点で新しい論理ドライブを作成する必要はありません。直接「デバイス ドライバのインストール」の項に進んでください。

**注:** 最新のProLiantサーバには、最初に電源を入れたときに自動的に論理ドライブを作成してRAIDレベルを設定するものがあります。このように動作するには、サーバの内蔵ハードディスク ドライブが7台より少なく、ブート ドライブに書き込まれていないことが前提となります。特定のサーバについて、これに該当するかどうかを識別するには、そのサーバ専用のセットアップ/インストレーション ガイドを参照してください。

未設定のサーバにコントローラをインストールする場合は、デバイス ドライバをインストールする前に、ACUまたはORCAを使用して、少なくとも1つの論理ドライブを作成する必要があります。

ACUの使用について詳しくは、『HPアレイ コンフィギュレーション ユーティリティ ユーザ ガイド』を参照してください。このガイドは、ユーティリティと同じCDで提供されます。または、HPのWebサイト<http://www.hp.com/> (英語) からもダウンロードできます。

ORCAを使用するには、以下の手順に従ってください。

1. サーバの電源を入れます。画面にORCAプロンプトが表示されている間に、**F8**キーを押してユーティリティを起動します。
2. 画面上の指示に従って論理ドライブを作成します。
3. 設定を保存して、ユーティリティを終了します。

## 6. デバイス ドライバのインストール

コントローラ キットに付属のソフトウェアCDのいずれかを使用してデバイス ドライバをインストールします。

SmartStart自動インストール パスを使用して新しいサーバにオペレーティングシステムをインストールした場合、ドライバはその時点で自動的にインストールされます。古いシステムでドライバを手動で更新する場合もSmartStartが使用できます。詳細については、SmartStartのマニュアルを参照してください。

サポート ソフトウェアCDを使用した場合、デバイス ドライバのインストール手順はオペレーティングシステムによって異なります。システムが新規のものであるか、すでにオペレーティングシステムがロードされていてユーザ データを保持しているかによっても手順が異なります。詳細な手順については、CDに付属のブックレットを参照してください。

以上でインストールは完了です。

インストールが完了すると、必要に応じて、論理ドライブを作成、変更、およびフォーマットできます。